



飼育員 日誌

須坂市動物園

アライグマとタヌキ——写真——の違いってわかりますか。アライグマは、北米などの森林で生息している、タヌキは日本の本州の里山で暮らしています。どちらも全体の毛色が焦げ茶色で体の大きさも似ています。獣舎前の看板がなかったら、わからない方も多いのでは。でも、よく見ると違うところが…。

一番わかりやすいのは、尻尾の色です。アライグマは、長目のしま模様で、タヌキは黒くて短め。脚と腹部側の毛色も違います。アライグマは白っぽい、タヌキは黒っぽいんで

「アライグマかな？ タヌキかな？」

す。木登りの得意なアライグマが樹上にいると、木漏れ日に混ざって白さが保護色となり、逆に苦手なタヌキは、地面で行動するので、藪にじむ暗めの色が保護色なんです。

四肢の先も、アライグマは、ヒトの手のように指が長く、物をつかむことが得意です。タヌキの方は、イヌと同じく、指を開けないのでつかめません。でも、歩いたり走ったりするときには、しっかりと地面に踏み込めます。

看板がなくてもわかりそうですか。
(アライグマ担当 笹井恵)

